

令和7年度 京都府立南丹高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階・実施段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>○ 本府における総合学科高校の中核的役割を踏まえ、総合学科の特色を生かした教育活動を推進する。</p> <p>○ 確かな学力と豊かな人間性を基盤とする知徳体の調和のとれた成長を促し、自立した社会人としてたくましく生きる力を育成する。</p> <p>○ 郷土(京都・ロ丹波)に対する親しみと理解を深め、地域に貢献できる人材を育てるとともに、地域から信頼される学校作りに努める。</p>	<p>○ 「産業社会と人間」や「総合的な探究の時間」を中心とした学びの中で、様々な資質・能力の向上が見られた。</p> <p>○ 総合知的探究系列では、学年を越えた交流の実施等、多様な取組を通して、特色化を図ることを目指した。</p> <p>○ テクニカル工学系列では、関係機関との連携を積極的に行い、パートナー企業を中心とした協力を受け様々な活動を実施した。</p> <p>○ 主体的に学ぶ姿勢の育成を目指し、「指導と評価の一体化」について検証を行うとともに、学習用端末の有効活用等、さらなる授業改善への取組を継続する。</p> <p>○ 学びに対する多様なニーズに応じた支援の在り方の検討が必要である。</p> <p>○ 多様な希望進路の実現に向け、基礎学力の向上・定着、より高みを目指す意識の高揚と実現に向けた力を育成について、どのように推進するか検討を行う。</p> <p>○ 部活動活性化、加入率向上に向けた取組を継続・発展させる。</p> <p>○ 基本的な生活習慣の確立、規範意識の醸成、自他の人権を尊重する意識や態度を身に付ける指導を継続する。</p> <p>○ 生徒が安心して学べる環境の構築に向け、適宜ケース会議を行う等、きめ細やかな指導を継続する。</p>	<p>1 「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」を中心に、総合学科の特徴を生かした教育活動の実践を通して、時代の変化に応じて求められる資質や能力の一層の向上及び生徒の主体的な活動を引き出す学習活動の実践。そのために求められる柔軟な教育課程の検討</p> <p>2 総合知的探究系列・テクニカル工学系列の取組の充実と特色化</p> <p>3 個々のニーズに応じた適切な学びの支援と新学習指導要領に基づいた指導と評価による授業改善の実施</p> <p>4 基礎学力の定着と発展的学力の育成、キャリア教育の充実による希望進路の実現</p> <p>5 ICTを活用した主体的に学ぶ姿勢の育成、指導力の向上に向けた取組・研修等の充実と授業の工夫</p> <p>6 学校行事、部活動の活性化と部活動加入率の向上</p> <p>7 総合学科の魅力発信と地域の力を教育活動に活用する工夫を通して、地域に貢献する意識の育成と地域を活性化する取組の推進</p> <p>8 高い人権尊重の意識を持ち、多様な価値観の尊重や多様な人々と協働する態度の育成</p> <p>9 基本的な生活習慣の確立、規範意識の醸成、いじめの未然防止への組織的対応等により、生徒一人ひとりが安心して学校生活を送ることができ環境の整備</p>

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題	
組織・運営	総合学科教育の充実と探究活動の推進	「産業社会と人間」や「総合的な探究の時間」を中心とした学びを通して、これからの時代に求められる資質・能力をさらに高める取組を行う。	B	A	<p>・総合学科として年間を通して「産業社会と人間」や「総合的な探究の時間」を中心とした学習の中で、様々な資質・能力の向上が見られた。特に3年の「総合的な探究の時間」では、地域課題の解決に向けた探究活動に取り組み、亀岡市や地域の事業所等と協力・連携し、地域活性化に努めた。</p> <p>・テクニカル工学系列では、関係機関との連携を行い、パートナー企業等に活動の協力をいただくことで各取組や課題研究の実践につなげた。</p> <p>・総合知的探究系列では、学年を超えた交流の実施等の多様な取組を通して特色化を図ることに尽力した。来年度は学年間の日頃の連携を密にし、系列のより魅力ある取組を推進していきたい。</p> <p>・希望進路の実現に向け、基礎学力の向上・定着にいかに取り組むか、また、1人1台端末を活用した授業の工夫や実践について、校内研鑽が必要である。</p> <p>・学校行事は生徒が主体となり積極的に運営に携わった。部活動加入率向上を目指し、引き続き、取組を進めたい。</p> <p>・人権教育は系統的で有意義な内容であったと考える。一方で、生徒が安心して学べる環境の構築に向けては日頃からよりきめ細やかな指導の実践が求められる。</p>
		テクニカル工学系列の学びや取組をさらに充実させ、パートナー企業や地域住民等との連携を深める。また、総合知的探究系列の特色化を図り、学年を越えた取組等の機会を増やし、内容をより豊富なものにする。	B	B	
		スクールミッションに対する3つのスクールポリシーに基づいた教育活動の実践を通して、生徒の満足感を高め、本校の総合学科としての魅力を存分に発信し、生徒募集につなげる。	B	B	
		地域の力を教育活動全般に生かし、地域を活性化する取組を推進するとともに、郷土愛を育む。	A	A	
学習指導 進路指導	基礎学力の定着とキャリア教育の充実による希望進路の実現	個々のニーズに応じた適切な学びの支援を実践する。観点別評価の定期的な見直し等により、指導と評価の一体化と多面的・多角的な評価を推進し、授業改善につなげる。	B	B	
		基礎学力の定着と発展的学力の育成を目指し、学習指導及びキャリア教育を充実させ、希望進路を実現するとともに、進路先においても能力を発揮できる人材を育てる。	B	B	
		ICTを活用した学習活動の実践に向けた研修の機会を充実させ、個別最適な学びと主体的な学びを推進する。	B	B	
生徒指導	主体性の育成 社会性の育成	部活動や生徒会活動の活性化、学校行事の充実を通して、生徒の主体的な活動を支援するとともに自己肯定感を高める。	B	A	
		人権意識の醸成と様々な人権問題を解決する力を育成し、生徒が安心して学ぶことができる教育環境の構築に努める。状況に応じて、ケース会議等を開催し、外部機関との連携も図りながら、生徒一人ひとりに対応した教育活動を推進する。	B	B	

学校関係者 評価委員会 による評価	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の力を教育活動に生かすとともに、地域を活性化する取組の推進に向け、地域とのつながりを大切にしながら継続してもらいたい。 ・SNSの利用も含めた人権意識の醸成に向けて、スマホやタブレットの使用や校内での取り扱いについて、さらなる改善を図りながら引き続き教育活動を展開してもらいたい。 ・南丹高校の魅力をいかに発信し、生徒募集につなげるかについて、分析や検証をすることで、今後の方策に生かしてもらいたい。
-------------------------	---

次年度に 向けた改善の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・「産業社会と人間」、「総合的な探究の時間」の授業を中心に生徒の主体的な活動を引き出す学習活動の発展的な実践を目指す。 ・1人1台端末を活用した授業の工夫と実践に向けた研修等を取り入れる。また、生徒がデジタル技術を積極的に活用し、責任ある態度で社会に参加できる力を身につけられるよう支援する。 ・テクニカル工学系列の学びや取組を充実させ、パートナー企業や地域住民等との連携を深める。また、教育活動全般で地域の力を活用できるよう工夫する。 ・地域連携の取組が活発である本校の特色を教育活動の実践に生かし、広報活動の方法のさらなる工夫により生徒募集につなげる。 ・生徒一人ひとりが安心して学校生活を送れる環境の整備に努める。
-----------------------	--

(評価の基準 A:十分達成できている B:ほぼ達成できている C:成果はあったが目標の達成には不十分である D:ほとんど達成できていない)